

**報告：第5号**

3月2日(木) 02 木内直子 議員 答弁資料目次(令和5年3月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	学校給食費の無償化について	教育部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2	ジェンダー平等の実現、パートナーシップ宣誓制度について	市民部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	基金の活用、国保と介護の負担軽減について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1 4-2 4-3	新型コロナウイルス感染症に対する対応について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	補聴器購入費の助成について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1 6-2	リニア関連事業について	リニア交通政策監	1

## 報告：第5号

令和5年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 学校給食費の無償化について

- (1) 質問者 木内直子 議員
- (2) 質問日 3月2日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市の学校給食費につきましては、学校給食法の規定に基づき、給食の実施に必要な施設、設備に要する経費や人件費等の運営費は設置者である本市が負担しており、保護者の皆様には食材費のみをご負担いただいているところであります。

こうした中、本市では、経済的な理由による支援が必要な世帯につきましては、就学援助制度により、学用品費や学校給食費などの支援を行っており、さらに、長期化するコロナ禍において、令和元年度から継続して陽性者の発生による学級閉鎖などで、キャンセルができなかった給食の食材費を、今年度8月からは、原油価格や物価の高騰に伴う給食の食材費の高騰分を負担しているところであります。

今後におきましても、真に支援を必要とする世帯の負担軽減に努めながら、現行制度を維持してまいりたいと考えております。

**報告：第5号**

3月2日(木) 03 坂本信康 議員 答弁資料目次(令和5年3月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	子どもに関わる相談支援体制の強化について	市長	1
1-2	「(仮称)児童生徒支援センター」の設置について	教育長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	まちなかの再生ビジョンの策定と実行組織について	企画財務部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	健康で安心して暮らせるまちづくりについて	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	本市のゼロカーボンシティの実現に向けた取組について	市長	1

## 報告：第5号

令和5年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 「(仮称)児童生徒支援センター」の設置について

- (1) 質問者 坂本信康 議員
- (2) 質問日 3月2日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省が昨年10月に公表した令和3年度の全国小中学校における不登校児童生徒数やいじめの認知件数は、過去最多になり、学校教育における喫緊の課題となっております。

本市におきましては、不登校児童生徒及び保護者への適切な支援につなげることを目的として、学識経験者や小中学校の管理職、不登校担当教員等で構成する「甲府市不登校総合対策検討委員会」を昨年7月に発足し、あすなろ学級における居場所機能、社会適応支援機能の強化に向けた検討や、相談機関、保護者へのアドバイス等を記したリーフレットの作成などを進めており、加えて、いじめへの対応につきましても、定期的を実施するアンケートを通じた早期発見や養護教諭やスクールカウンセラーなどのきめ細かな教育相談により早期対応に努めてきたところであります。

こうした中、本年4月に甲府市教育研修所内に開設する「(仮称)児童生徒支援センター」は、不登校をはじめ、いじめや特別支援教育に係る児童生徒や保護者からの相談を一元的に受け、専門の担当者が連携して必要な支援を円滑に行う体制を整えるものであります。

## 報告：第5号

この支援センターでは、不登校やいじめについて、自立支援カウンセラー等が電話や来所での相談を受け、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが学校や家庭を訪問し、悩みや困難を抱える児童生徒に寄り添い、必要に応じ、同じ施設内にあるあすなろ学級をはじめとした市や県の関係部署とも連携をしながら行き届いた支援につなげるとともに、子どもの発達等に関しては、特別支援教育担当職員などが就学や特別支援学級等に係る相談を受け、状況によっては、発達検査も行うこととしております。

今後におきましては、子ども・保護者の悩みなどに寄り添い、ヤングケアラーや経済的支援が必要な場合などは、「(仮称)子ども・青少年総合相談センター」をはじめ、各種関係機関等とも連携を図りながら、児童生徒が未来を担う社会の一員として自立することを応援してまいります。

## 報告：第5号

3月3日(金) 07 川崎 靖 議員 答弁資料目次(令和5年3月 定例会)

(一括方式) 1-1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
1	「ヴァンフォーレ甲府」との連携等について	教育部長	2
2	AFCチャンピオンズリーグにおけるプロモーションについて	市長	1

## 報告：第5号

令和5年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 「ヴァンフォーレ甲府」との連携等について

- (1) 質問者 川崎 靖 議員
- (2) 質問日 3月3日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 スポーツ課
- (5) 答弁内容

本市におきましては、「甲府市スポーツ推進計画」の基本目標の一つに「地域に活力をもたらすスポーツ環境づくり」を掲げ、スポーツの果たす力により、地域社会の結びつきを強め、地域の活力の維持向上を図るため、地元のプロスポーツチームへの支援やその積極的な活用に取り組んでおります。

こうした中、プロサッカークラブである「ヴァンフォーレ甲府」との協働や支援として、「甲府市サンクスデー」の共催における、子どもたちへの様々な体験の提供や市民無料招待並びに天皇杯決勝やJリーグ開幕に合わせた、担当課職員の応援Tシャツの着用など、「みるスポーツ」や「ささえるスポーツ」といった、様々な形でスポーツと地域住民が関わる機会の創出に努め、子どもたちの健全育成や、市民の皆様のスポーツへの関心に繋げたところであります。

また、子どもの運動機会の充実やライフステージに応じたスポーツ活動の推進のため、「ヴァンフォーレ甲府」のコーチによる小学生を対象とした、正しい走り方を教える「ランクリニック」や、成人を対象とした健康運動を行う、「ヘルスアップ教室」などを開催し、子どもの運動能力向上や市民の健康

## 報告：第5号

増進を図るとともに、「ヴァンフォーレ甲府」の市民への浸透に、繋げたところであります。

今後におきましても、「ヴァンフォーレ甲府」との連携をより深め、これまでの取組を継続していくとともに、「こうふ ドリームキャンパス」夢の先生の学校訪問を行うなど、子どもたちをはじめ、市民のスポーツへの関心を高め、地域でのその活動を促し、市民一人一人が生涯にわたって健康で活力に満ちたまちづくりを進めてまいります。



**報告：第5号**

3月3日（金）08 原田洋二 議員 答弁資料目次（令和5年3月 定例会）

（分割方式）1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	今後の保育行政について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	湯田地区集会場の解体について	危機管理監	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	<b>通学路の交通安全対策について</b>	<b>教育部長</b>	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	<b>小学校の通学区域の弾力化について</b>	<b>教育長</b>	1

## 報告：第5号

令和5年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 通学路の交通安全対策について

- (1) 質問者 原田洋二 議員
- (2) 質問日 3月3日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市では、子どもたちが安全・安心に通学できるよう、平成26年度に策定した「甲府市通学路交通安全プログラム」に基づき、警察や国、県、市の道路管理者、本市教育委員会等の関係機関で構成する「甲府市通学路安全推進連絡会議」を設置し、定期的または随時に、合同点検を実施する中で、必要な対策を講じるとともに、継続的な安全の確保が図られるよう対策後の効果についても検証を行っております。

また、学校現場におきましては、児童・生徒に対し、交通安全指導を実施するとともに、保護者や地域の皆様のご協力をいただく中で、登下校時の見守りを行うなど、交通安全対策に鋭意取り組んでいるところであります。

本市における安全な道路環境の整備といたしましては、緊急度の高い通学路において、グリーン塗装や注意喚起を促す路面標示の整備などを、計画的に実施してきたところであり、平成26年度からこれまでに、対応が必要な箇所は500件あり、そのうち、本年度末には、累計370件の整備が完了し、約4分の3が対応済みとなる見込みであります。

こうした中、令和5年度におきましては、年次的に行っている整備の前倒

## 報告：第5号

しを行い、通学路における交通安全対策の加速化を図るための経費を当初予算として本定例会に提案したところであります。

また、都市計画道路におきましても、通学時の安全性向上につなげるため、通学路となる路線の整備を優先的に行うこととし、整備プログラムを見直す中、現在、「高畑町昇仙峡線」などの整備に着手しているところであります。

今後におきましても、通学路における安全・安心を確保するため、道路環境の整備を着実に進めるとともに、関係機関との連携を一層強化する中で、様々な交通安全対策を講じてまいります。

## 報告：第5号

令和5年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 小学校の通学区域の弾力化について

- (1) 質問者 原田洋二 議員
- (2) 質問日 3月3日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 総務課
- (5) 答弁内容

本市における令和4年度の児童数は、7,530人で対前年度比117人の減少となっており、今後も人口減少や少子化の影響で児童数の減が見込まれる中、南部地域においては、宅地開発等により児童数は増加しており、学校規模の大小により、「児童の活躍する場」や「学校施設の利用」といった教育環境において、格差が生じているところであります。

こうした中、過大規模校である山城小学校は、市内で唯一児童数が1,000人を超えている一方で、小規模校である湯田小学校は、児童数の減少が他の学校と比べ顕著であることから、山城小学校の通学区域内の児童が湯田小学校に就学できる通学区域の弾力化を来年度に向け導入いたしました。

その導入にあたりましては、山城小学校の保護者を対象にしたアンケート調査をはじめ、学校関係者や両校の保護者、地域住民の皆様への説明を行うとともに、「甲府の子どもの教育総合推進校」として、魅力ある学校づくりを進めている湯田小学校において、個々の教員の専門性を活かす授業や外部講師を招いた体験学習などを来年度、実施できるよう取り組んできたところで

## 報告：第5号

あり、昨年10月から12月までの募集期間における問合せや学校見学の件数は6件であり、最終的に4名の児童が湯田小学校に就学することとなりました。

今後におきましては、一人でも多くの児童が湯田小学校に就学するよう個別学習などのきめ細かな指導や地域資源を最大限に活かした教育活動の充実など、魅力ある学校づくりを推進するとともに、他の小学校の児童数の推移や地域の実情を把握し、学校関係者や地域の皆様の意見を聞くなど、通学区の弾力化への取組を進めてまいります。

## 報告：第5号

3月6日(月)09 鈴木 篤 議員 答弁資料目次(令和5年3月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
1-1 1-2 1-3	自治会の担い手不足及び負担軽減並びに自治会応援条例の制定について	市長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
2-1	SDGsを学ぶ場の創出について	企画財務部長	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
3-1	ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた公共施設の貸し出しについて	危機管理監	1

番号	質問事項	答 弁 者	答 弁 順 番
4-1	自転車利用者のヘルメット着用努力義務化について	市民部長	1
4-2	甲府商業高等学校の自転車通学者へのヘルメット着用指導について	教育長	2

## 報告：第5号

令和5年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 甲府商業高等学校の自転車通学者へのヘルメット着用指導について

- (1) 質問者 鈴木 篤 議員
- (2) 質問日 3月6日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 甲府商業
- (5) 答弁内容

甲府商業高等学校における交通安全教育につきましては、これまで、交通安全意識の高揚を図り、交通事故を未然に防止するため、警察やJAF山梨支部と連携し、交通安全講習会を開催するとともに、登校時に、教員が学校周辺の交差点等において、交通指導を行うなど、交通ルールの遵守の徹底を図ってまいりました。

こうした中、本校においては、今般の道路交通法の改正による、ヘルメット着用の努力義務化や、山梨県教育委員会における、県立の高等学校等の自転車通学者に対しての、ヘルメットの着用を義務化する旨の通知を踏まえ、事故による被害を軽減し、生徒の大切な命や身体を守るため、全ての自転車通学者にヘルメットを着用させることとし、現在、自転車通学に係る事項を定めた校則である「交通に関する規程」の見直しを進めているところであります。

今後におきましては、生徒や保護者への周知を図るため、リーフレット等の作成、配布を行うほか、入学式や始業式、PTA総会などにおいて、その必要性を説明するとともに、ヘルメットの準備が整い次第、着用するよう

## **報告：第5号**

ホームルームなどにおいて、指導を行うなど、1日も早く、全ての自転車通学者が、ヘルメットを着用する体制を整えることで更なる交通安全対策を推進してまいります。



**報告：第5号**

3月6日(月)10 望月大輔 議員 答弁資料目次(令和5年3月 定例会)

(分割方式) 2-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	物価高への対策について	産業部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2	新型コロナウイルス感染症対策について	保健衛生監	1
2-3	新型コロナウイルス感染症に関わる事業者支援策について	産業部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	国土強靱化地域計画アクションプランについて	危機管理監	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	ヤングケアラーへの対応について	子ども未来部長	1
4-2	こども家庭センターについて	子ども未来部長	2
4-3	子育て応援体制について	子ども未来部長	3
4-4	放課後児童クラブの環境整備について	子ども未来部長	4

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	転入超過の要因と今後の施策展開等について	企画財務部長	1
5-2	「地域おこし協力隊」の活用について	産業部長	2

**報告：第5号**

3月6日（月）10 望月大輔 議員 答弁資料目次（令和5年3月 定例会）

（分割方式）2-2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1	マイナポータルの推進について	行政経営部長	1
6-2	A I の活用について	行政経営部長	2
6-3	観光や地場産業等へのメタバース技術の活用について	産業部長	3

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
7-1	地場産業等における人材育成等に係る取組について	産業部長	2
7-2	「宝石のまち 甲府」に関わる取組の推進について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
8-1	郷土の文化芸術への関心向上等について	教育部長	1
8-2	英語教育やプログラミング教育の推進について	教育長	2

## 報告：第5号

令和5年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 郷土の文化芸術への関心向上等について

- (1) 質問者 望月大輔 議員
- (2) 質問日 3月6日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 生涯学習課
- (5) 答弁内容

次代を担う子どもたちが多様な文化芸術を鑑賞・体験することは、豊かな創造性や発想力、コミュニケーション能力などを養うことに繋がることから、本市としても可能な限り、優れた文化芸術を体験する機会が持てるよう努めているところであります。

本市の児童生徒を対象とした文化芸術に関する取組につきましては、ジュニアオーケストラ等を編成し、技術の習得やその成果発表である演奏会を開催したほか、各公民館では、地域の方を講師に招き、土器から学ぶ地域の歴史や、琴や絵画の講座を開き、「甲府市出前講座」では、広報等を通じて地域の皆様に周知する中で、講師の登録をしていただき、各団体の要請により派遣しております。

また、文化庁が進める「伝統文化親子教室事業」を積極的に活用し、市内で活動している団体が子どもたちに琴や長唄、三味線などの伝統文化を体験・習得する機会を提供しております。

さらに、こうふ開府500年記念事業を契機に実施している「こうふドリームキャンパス」においては、甲府大使をはじめとする著名人や、地域で文

## 報告：第5号

化芸術をはじめとする多様な活動をされている方々を「夢の先生」に招聘して、夢に向けて様々な事象に興味関心を抱いていただけるような成長の糧となる学びの機会を提供しているところであります。

今後におきましても、甲府市文化協会をはじめとした関連団体等と連携する中で、地域において文化芸術に造詣の深い方など新たな人材の掘り起こしを行い、「夢の先生」や出前講座等の講師の拡充やその内容の充実を図り、次代を担う子どもたちの郷土愛を醸成し、無限の可能性が広がる将来に活躍するきっかけとなるよう鋭意、取り組んでまいります。

## 報告：第5号

令和5年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 英語教育やプログラミング教育の推進について

- (1) 質問者 望月大輔 議員
- (2) 質問日 3月6日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

我が国においては、グローバル化が急速に進展し、英語によるコミュニケーション能力の向上が今まで以上に求められるとともに、将来の予測が難しい現在の社会において、情報や情報機器を適切かつ有効に活用していくことが不可欠になってきています。

英語教育におきましては、学習指導要領では、小学校3年生から「外国語活動」を行い、コミュニケーションの素地や基礎となる資質・能力を育成するとともに、中学校では「外国語科」として学習した語彙や表現などを、コミュニケーションを行う目的や場面・状況などに応じて活用し、表現力を高めることなどが示されております。

本市教育委員会では、姉妹都市であるデモイン市から招聘するなどしたALTを市内全小中学校に配置し、児童生徒に対して、ネイティブの英語に触れさせ、コミュニケーションを図る場面を設定することで、考えを的確に伝えようとする意欲の高まりが見られるようになるとともに、GIGAスクール構想で導入した一人一台端末のデジタル教科書等も活用しながら、音声や動画を繰り返し再生し、正しい発音や深い学びにつながりました。

## 報告：第5号

一方、プログラミング教育におきましては、文部科学省では、課題や目標をクリアするための手順や方法を論理的に考える力である「プログラミング的思考」を育むことや、情報社会がコンピュータ等の情報技術によって支えられていることに気付くことなどをねらいとしてあげており、各学校では、プログラミング教育に係る、育成を目指す資質・能力や教科・単元名等を示した全体計画に則り、一人一台端末などを活用しながら、小学校6年生の理科の学習においては、人が近づくと明かりが付き、しばらくすると消えるプログラム作りに取り組むとともに、中学校の技術科においては、壁にぶつからないように車を走らせるなど自ら設定した課題に沿ってプログラムを作成することで、学習への意欲の高まりとともに、プログラミングが身近な生活や技術と深く関わりあっていることやその魅力を感じることなどにつながりました。

今後におきましても、英語教育やプログラミング教育はグローバル化が進む中、次代を担う子どもたちにとって大変重要であることから、本市がGoogle社のパートナー自治体となっていることによる教員等への手厚いサポート体制を最大限活用するとともに、ICT推進専門員等による各学校への支援も充実させICTを活用した教育を推進してまいります。

# 報告：第6号

3月13日(月) 01 池谷陸雄 議員 答弁資料目次(令和5年3月 予算特別委員会)

1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	令和5年度当初予算における都市像の実現に向けた取組について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	ICTを活用した学力向上の取組について	教育長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	歴史文化交流施設の整備について	産業部長	1

## 報告：第6号

予算特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### ICTを活用した学力向上の取組について

- (1) 質問者 池谷陸雄 議員
- (2) 質問日 3月13日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

現在の学校現場においては、GIGAスクール構想のもと、日常的にICTを活用できる環境を整備し、ハード・ソフト・人材が一体となった取組を一層加速することにより、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない学びの実現に向けた教育を推進することが必要となっております。

こうした中、本市におきましては、令和3年度に市内全小中学生に1人1台端末を配備し、個々の端末から共有のホワイトボード上に考えを書き込める機能やプレゼンテーションの機能などの学習支援アプリを活用し、多様な意見に触れる協働的な学びや、調べたことを発表する活動を行うとともに、外国語科においては、デジタル教科書等も活用しながら音声や動画を繰り返し再生し、正しい発音や深い学びにつなげることも行っており、また、家庭学習においては、日常的な持ち帰りによるAI型ドリルの活用や調べ学習などを行い、学習内容の習熟や定着を図るとともに、不登校や感染症等で欠席している児童生徒に対しましても、オンラインでの朝の会や授業への参加を促してまいりました。

来年度に向けましては、他校との遠隔授業による交流を進めるとともに、ICTを活用した授業において、中心的な立場となる児童生徒を育成するジュニアICTリーダー研修会を充実させ、子どもたちの意欲やICT活用の可能性を高めることに加え、ICT推進専門員を現行の1名から2名体制に



## 報告：第6号

増員し、各学校の取組への支援体制を充実させるとともに本市が G o o g l e パートナースイップ自治体に参画していることで、質の高い教員向けの研修を受けることができるメリットを最大限に活用しながら、教員の指導力の向上にもつなげてまいります。

今後におきましても「甲府市 G I G A スクール 推進ビジョン」に基づき、これからの情報化社会を生き抜く子どもたちの育成に向け、これまで推進してきた教育に I C T をより一層、効果的に活用させることにより、情報活用能力を含めた子どもたちの学力向上に取り組んでまいります。

# 報告：第6号

3月13日(月) 05 清水英知 議員 答弁資料目次(令和5年3月 予算特別委員会)

1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	子ども・子育て支援について	市長	1
1-2	<b>学校給食費の無償化について</b>	<b>教育部長</b>	<b>2</b>

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	市民生活や地域経済の実態について	企画財務部長	1
2-2	市税等の滞納者への対応について	税務統括監	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	令和5年度当初予算における財政調整基金の活用について	企画財務部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1 4-2	地球温暖化対策について	環境部長	1

## 報告：第6号

予算特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 学校給食費の無償化について

- (1) 質問者 清水英知 議員
- (2) 質問日 3月13日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市の学校給食費につきましては、学校給食法の規定に基づき、給食の実施に必要な施設、設備に要する経費や人件費等の運営費は設置者である本市が負担しており、保護者の皆様には食材費のみをご負担いただいているところであります。

こうした中、本市では、経済的な理由による支援が必要な世帯につきましては、就学援助制度により、学校給食費や学用品費などの支援を行っており、また、長期化するコロナ禍において、令和元年度から継続して陽性者の発生による学級閉鎖などで、キャンセルができなかった給食の食材費を、負担しているところであります。

さらに、今年度8月からは、原油価格や物価の高騰に伴う給食の食材費の高騰分を負担しているところであり、来年度も継続して実施するための経費を当初予算として本定例会に提案したところであります。

今後におきましても、真に支援を必要とする世帯の負担軽減に努めながら、現行制度を維持してまいりたいと考えております。

# 報告：第6号

令和5年3月23日

甲府市議会議長 輿 石 修 様

予算特別委員長 小 沢 宏 至

## 報 告 書 (教育委員会関係の一部抜粋)

去る3月6日の本会議において、当委員会に付託されました令和5年度甲府市各会計別予算14案及び条例8案について、3月13日から20日まで8日間にわたり慎重に審査を行いました。

以下、その経過と結果について御報告いたします。

(中略)

次に、各条例案の審査の経過と結果について申し上げます。

(中略)

議案第21号 甲府市いじめ防止連携会議等設置条例制定について

(中略)

の6案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

次に、令和5年度各会計別予算案の審査の経過と結果について主な内容を申し上げます。

まず、一般会計予算について申し上げます。

(中略)

## 報告：第6号

教育費については、不登校対策の新たな取組についてただしたのに対し、中学校2校を不登校対策の研究推進校に指定した上で専門の市単教員2名を配置し、別室指導等を通じて、生徒への適切な支援に取り組み、不登校の未然防止等に努めていくとの答弁がありました。

これに対し、本市の喫緊の課題である不登校対策については、今後、全庁横断的に対策を進めていくよう求める意見がありました。

また、中学校部活動の地域移行についてただしたのに対し、令和8年度の全面移行を目指し、令和6年度から段階的に移行を進めることとしたところであり、地域の指導者と学校とをつなぐ役割を担う会計年度任用職員を雇用する中で、地域移行に向けた準備や課題整理を進めていくとの答弁がありました。

これに対し、これまで部活動が果たしてきた役割をどのように継続していくか検討しながら、教員の多忙化解消に向けて推進していくよう求める意見がありました。

(中略)

以上が、令和5年度の一般会計、各特別会計及び各企業会計予算案の審査における質疑の概要であります。

(中略)

次に、採決の結果、  
議案第1号 令和5年度甲府市一般会計予算

(中略)

の11案については、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

(中略)

## 報告：第6号

最後に、市長から、令和5年度は、コロナ禍におけるマスク着用の緩和や感染症法上の位置付けの引下げなど、平常化へ向けた明るい兆しが見え始めている一方で、エネルギーや食料品等の価格高騰という新たな課題に直面しており、将来を見通すことが大変難しい状況下ではあるが、社会経済情勢の変化を常に見極め、市民生活への影響の抑制や地域経済の活性化に向けた取組を適時・的確に推進するとともに、引き続き第六次甲府市総合計画や「KOFU NEXT ACTION」に位置付く重点施策・事業を力強く推進する中で、本市が掲げる都市像の実現に向け、全身全霊で取り組んでいくとの決意が述べられました。

以上が委員会審査の経過と結果であります。それぞれの審査日の質疑終了後に活発な委員間討議を行う中、来年度予算を執行する上で留意すべき点等を委員会の意見として、次のとおり集約しました。

議案第1号に対しましては、

- 1 職員の多忙化解消や処遇改善に引き続き努めていくこと。
- 1 社会情勢の変化に合わせ、今後とも放課後児童クラブの充実に努めていくこと。
- 1 山梨県独自の政策である25人学級の導入に係る校舎増築等の学校環境整備については、全額市費負担となっていることから、山梨県に対し財政的支援を強く要望していくこと。
- 1 不登校児童・生徒が増加していることから、一層の公的な対策強化に努めていくこと。

(中略)

以上を求めるものであります。

当局におかれましては、自主財源の確保と効果的な財源配分等に努めていただきながら、喫緊の課題である物価高や新型コロナウイルス感染症への対応はもとより、第六次甲府市総合計画の各般にわたる施策の一層の充実・加速化を図る中で、現在（いま）に責任を持ち、希望ある未来を約束するまちづくりの実現に向けて、市長と職員が一丸となって取り組まれることを期待し、報告を終わります。